会 議 録

1 会議名

令和7年度第1回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 報告事項（公開）

（1）廃校利活用サウンディング型市場調査について

（2）地域自治プロジェクトにおける各検討項目の方針案について

2 自主的な審議（公開）

（1）名立の魅力発信と持続可能な集落・地区の促進について

3 その他事項（公開）

3 開催日時

令和7年5月29日（木）午後6時30分から午後7時38分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

0名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：池垣委員、高宮委員、中野委員、新田委員、二宮委員、畑委員、原田委員、細谷委員、矢沢委員

・事務局：沢田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、塚田市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、木村地域振興班長

8 発言の内容

【木村班長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認し、会議の成立を報告する。

- ・原田会長に挨拶と議長を依頼する。

【原田会長】

- ・挨拶
- ・沢田次長に挨拶を求める。

【沢田次長】

- ・挨拶

【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【木村班長】

- ・配布した資料の確認
- ・会議録の確認者：細谷委員、池垣委員

【原田会長】

- ・次第2、報告事項（1）廃校利活用サウンディング型市場調査について、沢田次長へ説明を求める。

【沢田次長】

資料1により説明

【矢沢委員】

- ・旧下名立小学校の体育館とあるが、旧上名立小学校の体育館もあるのでは。

【沢田次長】

- ・旧下名立小学校の体育館は昭和32年に完成、上名立は戦前の昭和初期に完成したもので、耐震も測れないため、対象施設ではない。

【畑委員】

- ・旧下名立小学校では、太鼓の練習はやっているか。

【沢田次長】

- ・していない。宝田小学校で練習を行っており、旧下名立小学校は現在閉鎖している。

【原田会長】

- ・次第2、報告事項（2）地域自治プロジェクトにおける各検討項目の方針案について、沢田次長、木村班長へ説明を求める。

【沢田次長、木村班長】

- ・資料2により説明

【原田会長】

- ・どの地域でも使えるような制度として提案されているのか。

【沢田次長】

- ・モデル地域を設定して方策案を策定していると思われるが、そのモデル地域にあわせてレベルを合わせるというものではない。協議の進み具合や仕組みは現状にあわせて変えていくものと思う。

【原田会長】

- ・地域協議会を主体とした制度化を考えているのか。

【沢田次長】

- ・そのとおり。地域協議会の役割は大きく変わらない。地域ビジョンとして、28 地区ごとのまちづくりの方向性は、皆さんに話し合ってもらうことになる。
- ・令和4年度に、地域活動支援事業から地域独自の予算へと制度が転換するときに、各地区で目指すものとして「地域ビジョン」を決定した。
- ・その地域ビジョンは、スローガンに近いものであるので、もう少し詳細で、具体的なものをお願いすることになると思う。

【原田会長】

- ・地域ビジョンをベースにまちづくりの方向性を考えるのか。

【沢田次長】

- ・委員も変わっており、地域ビジョンを決定してから4年が経つので、地域協議会での話し合いとなる。

【木村班長】

- ・地域独自の予算事業は、地域ビジョンに基づいて予算を付けることになっており、大きく外れたことはできない。
- ・そこに通らないものは、違う補助制度を利用することになる。

【原田会長】

- ・地域独自の予算事業の補助額減が困ると、他の地域協議会でも声が上がっている。
- ・利益を得る事業ではないのに、補助金減額となっても続けてくださいというのは理解に苦しむと、そういった話も出てくると思う。

【沢田次長】

- ・意見交換会で、そのような意見を出していただけたらと思う。

【二宮委員】

- ・地域独自予算の件で、安田市議会議員の質問に対し地域政策課は、補助率 7/10 に対して不満の声はほとんどなかったと答弁していた。それは自己負担 3 割が重く、事業を提案できない団体がたくさんいることを地域政策課は把握していないのではないか。
- ・令和 6 年度は新規事業が 36 件、令和 7 年は 17 件と減ってきている中で不満の声はないというのは、どうかと思う。
- ・私も地域独自の予算事業を利用しようと考えていたが、3 割負担はやはり重い。
- ・ボランティア的な活動を行う小さな団体で、自主財源 3 割を求めるのはどうかと思うので、次回の地域協議会で改めて発言しようと思う。

【沢田次長】

- ・ぜひご発言いただきたい。

【原田会長】

- ・次に、自主審議案件「名立の魅力発信と持続可能な集落・地区の促進」について、地域協議会の前に、私と副会長、事務局とで、山と海の環り舎小林さん、岡崎さんと話をさせていただいた。
- ・情報発信は大切だが、その方向性と目指すものが違う団体が多く、プラットフォームを考えていくうえで、そこはきちっとすり合わせなければならない等、いろいろなご意見をいただいた。それを踏まえたうえで今回の資料を用意した。
- ・次第 3、自主的な審議「名立の魅力発信と持続可能な集落・地区の促進」について、木村班長へ説明を求める。

【木村班長】

- ・資料 3-1、3-2、3-3 により説明

【沢田次長】

- ・これまでの協議で、検討会を行いたいという話になったが、検討会で何を目的にしたらいいのか、話をした結果何ができればいいのかを考えたときに、多くの方から集まってもらってプラットフォームができればよいと考えた。昔は観光協会もあり、

その代替ではないが、この集まりで意見を出してもらえばよいのかなと考えている。

- ・今回は、どんな人から集まってもらえばいいのか、どんな話をしてもらえばいいのか、期待も含めてご意見いただきたい。

【原田会長】

- ・検討会には地域協議会からも入ってもらう必要がある。
- ・先日、中学生の活動が新聞で紹介されていたが、それぞれが個々に新聞やInstagram、学校のホームページ等で記事を出しているが、トータルで発信できないのかと感じたので、そういった組織ができて、ゆくゆくは名立の発信の元になり、皆に利用いただければよいと考えている。
- ・中高生の参加はなかなか難しいと思うので、ご意見いただきたい。

【木村班長】

- ・会長からの宿題で、名立区で情報発信している方のリストをまとめている最中だが、かなり多くの発信者がいるなど感じている。例えば食堂や、遊漁船も定期的に更新されている。うみてらす名立はフェイスブック、X、Instagramを駆使している。

【原田会長】

- ・名立商工会もホームページを持っていたが更新がほとんどなかった。商工会が統合し、余裕が出てくれば更新しようという話になっている。くびきの商工会名立支部としても、この検討会に協力したいと思う。
- ・福祉の視点ではどうか。

【沢田次長】

- ・魅力発信というと観光面もあるが、教育や福祉なども地域の魅力として発信すべきと考える。

【原田会長】

- ・日常生活の魅力発信も大切である。

【細谷委員】

- ・魅力発信も大切だが、こういう集まりができて、その団体に繋がりができることが一番のメリットだと感じた。

【沢田次長】

- ・この方向性であれば、ここに案として書かせていただいた団体に打診してみたいと思う。団体の長に限らず、得意な人を出してもらえばよいと考えている。

【畑委員】

- ・観光に目が行きがちだが、企業なども仲間に入ってもらえると違った雰囲気も出てよいのではないか。企業からのバックアップも期待できる。

【矢沢委員】

- ・企業を引っ張り出すと、生活や定住にもつながってくると思う。商工会からもぜひ検討会に入っただけであれば、求人募集にもつながるのではないかな。移住となるとどうしても仕事はどうするかという話にもなる。

【沢田次長】

- ・全国に誇れる企業もある。

【二宮副会長】

- ・趣旨的に、100年後の名立を創造する会からも入っていただきたい。

【木村班長】

- ・区内の事業所で、プロにPR動画を作ってもらい、ユーチューブのCMで流したところもある。

【原田会長】

- ・昨年11月の「未来ひろば」のあと、地元企業の力の入り方が変わってきていると感じている。多くの子どもたちに自分たちの仕事を見てもらったのがよいきっかけとなったようだ。企業もアピールを意識し始めた。
- ・入口を広くして、様々な意見をいただきたい。

【木村班長】

- ・地域協議会からの検討会委員はまた後日相談させていただきたい。

【原田会長】

- ・次にその他事項、何かあれば発言いただきたい。

【二宮副会長】

- ・5月の無印良品の移動販売バスの放送がなかったように思う。それを聞いて行く人もいるのでお願いしたい。
- ・ろばた館について、避難所に指定されているが、西蒲生田以外の町内会からも、鍵

を預かりたいという声を聞いているが対応できないか。

【木村班長】

- ・防災担当に話が来ており、担当課の農村振興課から鍵を渡すと聞いている。
- ・なお、すべての町内に鍵を渡しておくというルールはなく、要望があれば協議のうえで渡しているとのこと。

【二宮副会長】

- ・旧公民館下名立分館について、かなり老朽化が進行しており、ガラスが割れ、外壁などが落ちてきて危ない状態。立入禁止のロープも落ちている。
- ・いつ取り壊しになるか具体的に示していただきたいという住民の声がある。

【塚田グループ長】

- ・建物の状況は把握している。名立区だけでなく市内にも同じような建物が多くあり、資産活用課が全市的に考えているところであり、方針が出れば住民の皆さんにお答えすることで、いま揉んでいる最中である。

【沢田次長】

- ・ご意見は資産活用課にお伝えしたいと思う。
- ・ロープの不備などはすぐに対応したい。

【二宮副会長】

- ・市でも考えているということ、地元町内会へ伝えていただきたい。
- ・うみてらす名立の大規模改修について、令和7年から地域住民とも話し合いを進めていくとのことだったが、その中には地域協議会委員も入るのか。
- ・先日、ゆららの2階がリニューアルしたが、地元の声は聞いたのかといった不満の声も聞かれる。令和7年からの話合いにはぜひ地域協議会委員も入れてほしい。

【沢田次長】

- ・うみてらす名立が30周年を迎えるので大規模リニューアルをしたいと検討している。地域協議会から声があったということは担当課に伝えたい。

【細谷委員】

- ・うみてらす名立から、先日行われたサウナ体験会について、ご意見いただきたいとお誘いがあり行ってきた。地域の声を聞こうという姿勢がみられる。

【沢田次長】

- ・あくまで民間企業であるため、地域住民として意見できる部分はあまりないのかもしれない。指定管理者の考えが優先されると思うので、必ずしも通るかはわからない。公の施設ではあるが、皆さんの意見が全て反映できるものではないことをご理解いただきたい。

【二宮副会長】

- ・そうかもしれないが、地元で愛されない施設にはなってほしくない。

【沢田次長】

- ・企業がコスト計算までしているところに意見はできないかもしれないが、意見を聞く場は作ればと思う。

【池垣委員】

- ・各地区から福祉委員を出してもらっており、その意見として、高齢化により様々な取組ができなくなっているという意見があった。その中で、ろばた館の温浴施設が無くなったことで、区内外の交流人口が減ることを心配する声があった。現在のろばた館の利用状況はどうか。

【木村班長】

- ・週に1回程度の利用である。地域の会議などが利用の中心で、今のところいきいきサロンによる利用はない。
- ・厨房の改修が終われば、そばまつり等のイベントが行われる予定である。

【池垣委員】

- ・地域の方は、ろばた館に行けば誰かいる、ということを楽しみにしていたようだ。確かに1~2名の利用者のためにお風呂を沸かすことは難しいが、行き場がなくなると残念に思っているようだった。

【沢田次長】

- ・お風呂が無くても常時開けてほしいという意見として承りたい。

【木村班長】

- ・ろばた館に関連して、毎月3日に来ている無印良品の移動販売バスについて、ろばた館では集客が見込めないことから、折平集落開発センター前に駐車場所を変更した。上名立地区全戸にチラシを配布したところである。

【原田会長】

- ・ 次回は、関係課と調整のうえ 6 月下旬に実施する。
- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121 (内線 5504)

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。